

今月の重点管理目標ー追突事故の防止ー

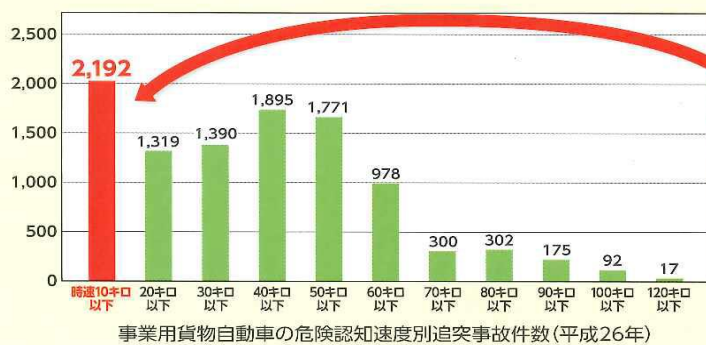
1

低速での追突防止 対策を強化しよう

事業用トラックの事故類型別事故件数をみると、追突事故がいちばん多くて約半数を占めています。
さらに、追突事故はスピードを出しているときに発生しているのではなく、「時速40キロ以下」、「10キロ以下」のスピードで多く発生しています。



●スピードを出していないとき、気を引き締めよう



ここに注目!

時速10キロ以下での追突事故が意外と多い

事故事例に学ぶ

スピードが落ちた前車のトラックに追突

2014年9月、三重県の名阪国道を走行中の中型トラックに後続の大型トラックが追突、追突された車が横転してドライバーが死亡しました。現場は緩い上り坂で、登坂のため中型トラックのスピードが落ちたのに気づかず、速度を保ってきた大型トラックが追突したものです。



教訓

漫然と前車に追従しないで、常に減速を予測し、車間距離を保とう

2

渋滞走行中の追突事故に注意

渋滞に巻き込まれてノロノロ運転になると、だんだんと気が緩んで運転以外の対象にわき見をしたりして、追突事故が起こりやすくなります。前車が車高が低い乗用車の場合には、目線を遠くに向けていると停止しているのに気づきにくいので注意が必要です。



3

台風など異常気象時の通行ルートを再チェックしておく

9月は台風の多い季節になりますので、大雨によってつうこうできなくなる可能性があります。とくにアンダーパスになっている道路など水没する可能性があるところを事前にチェックしておき、大雨のときには迂回するようにして下さい。



事故防止のヒント

発進時、歩行者の直前横断に注意

大型トラックで発進するときには、直前を横断する歩行者が死角に入っていて気づかないで衝突することがあります。横断歩道の手前などで発進するときには、まず直前をチェックする習慣をつけましょう。

